

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか	このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、弊社営業所または販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">●スイッチを入れても所定の時間で充電しない●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する●ヒューズがすぐ切れる●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる●その他の異常や故障があるとき	

●ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用者への危険、または物的損害を与えることが予測されます。取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1~2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

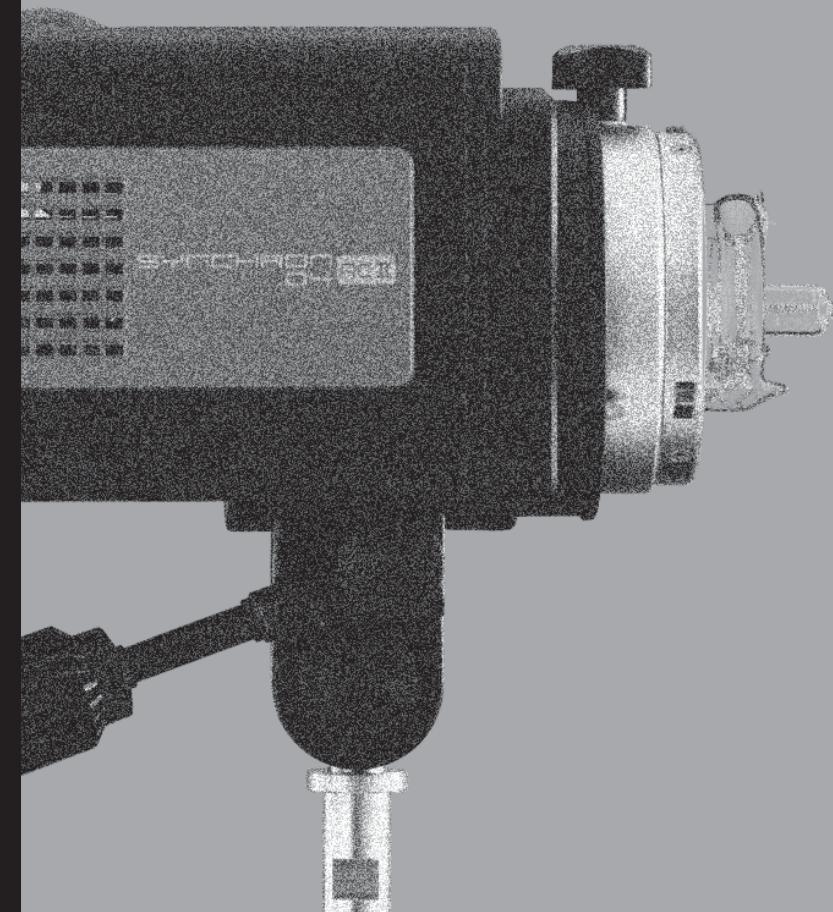
本社	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台 4-29-25	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5788	FAX.(03)5916-5875
東京営業所 コマーシャル課	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5789	FAX.(03)5916-5876
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5794	FAX.(03)5916-5878
東京営業所 名古屋連絡所	〒463-0813 名古屋市守山区吉根南 501 101号室	TEL.(052)737-3175	FAX.(052)736-2841
大阪営業所	〒531-0075 大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒531-0075 大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
福岡営業所	〒816-0912 大野城市御笠川 4-11-19 VI-2号室	TEL.(092)504-9005	FAX.(092)504-9006
海外事業部	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
産業機器部	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5787	FAX.(03)5916-5874

COMET

SYNCHRON 04RC II

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメットSYNCHRON 04RC IIをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、高機能・高耐久モノブロックストロボとして開発されました。

調光範囲はFULL(400Ws) ~ 1/128(3.1Ws)までのワイドレンジで1/6EVステップという高精度の調光を実現いたしました。

付属のRS-Receiver II装着により、無線シンクロ撮影も可能です。※RS-発信器(別売)、またはRS-Controller(別売)が必要です。

RS-Controllerを使用することで、16チャンネルの各チャンネル最大6灯までのワイヤレス操作が可能です。

また、堅牢性の高い大型雲台の採用により、大きなサイズのアクセサリー等にも安心してご使用いただけます。

なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいた上でご活用ください。

付属品

●ACコード4m黒丸J(インレット)	1本
●ハロゲンランプ 200W	1本
●CR-シンクロコード(5m) ストレート	1本
●ヒューズ 7A (ヒューズホルダー内に格納)	1本
●ヒューズホルダーオーブナー	1本
●取扱説明書	本書
●保証書	
●RS-レシーバーII(保証書)	1個

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1~4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6~7
4. 操作手順	8~9
5. 出力バリエーター	9
6. モデリングランプモード	10
7. サウンドモード	10
8. フォトセル	11
9. RS-レシーバーII(RS-Receiver II)	12~13
10. RS-コントローラー(RS-Controller)	14~15
11. 不発光警報	16
12. 過熱警報	16
13. モデリングランプの交換	17
14. ヒューズの交換	17
15. ガラスグローブの着脱	18
16. 保証とアフターサービス	19
17. 仕様	20~21

1 安全のため特にご注意ください



- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容(左図は感電注意)を示しています。



○記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図はプラグをコンセントから抜いてください)を示しています。

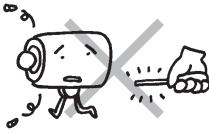
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警 告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部には、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部に長時間高電圧が残っています。感電の恐れがあります。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態、素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



- モデリングランプの交換や清掃など、キセノンランプ部に触れるときは、ランプの電極部には絶対手を触れないでください。

メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も内部には長時間高電圧が残っており感電の恐れがあります。特に清掃を行うときは、一日以上使用していないときに限って行ってください。



- 本体スリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- ストロボは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100V±10% (50/60Hz)です。異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



- ACコードプラグを着脱する時は必ずメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

! 注 意



- 使用中や使用直後はガラスグローブ、キセノンランプとモデリングランプはかなりの高温になります。十分に温度が下がってから取り扱ってください。



火傷の恐れがあります。



- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。



使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

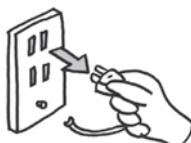


外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のため必ずACコードをコンセントから抜きとるか、ブレーカーなどをOFFにしてください。

発火、火災の恐れがあります。



2 使用上のご注意とお願ひ

- 調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。



- ストロボ電源部は使用しないときでも1ヶ月に1~2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。

- 3ヶ月以上(10ヶ月未満)の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

- 10ヶ月以上の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は通電せずに弊社クリニック課による点検(有料)を受けてください。長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、通電または発光をくり返すとコンデンサーが発熱し、発火、火災の恐れがあります。

- 過酷な使用で万一過熱警報がはたらいたときはACパイロットランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。このときはメインスイッチ(MAIN)を「OFF」にし、内部の温度が下がるまで使用を中止してください。

- 無線コントロール装置、無線シンクロ装置(弊社製)は無線LANと同様に2.4GHz帯の周波数を使用しています。無線LAN環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。(使用周波数: 2.427GHz ~ 2.457GHz)

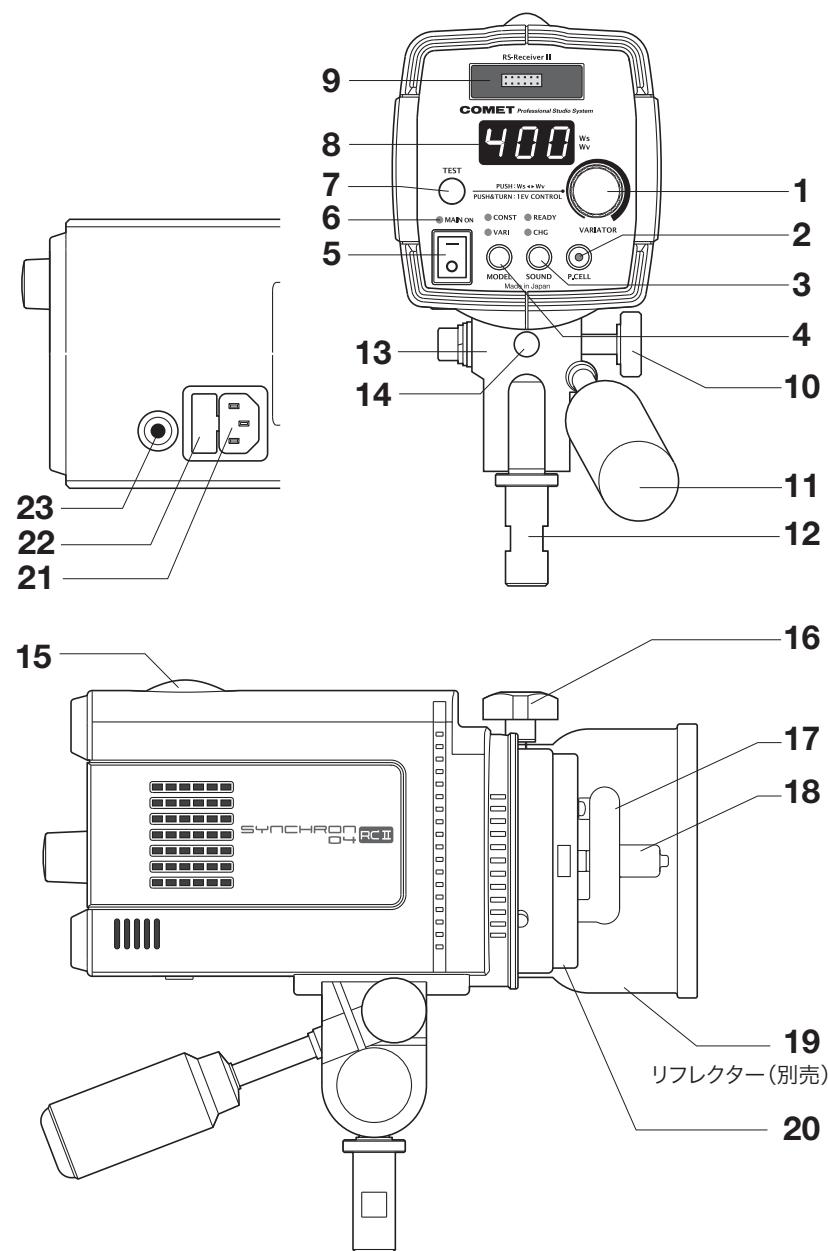
- 赤外シンクロ装置(弊社製)の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。

蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

- 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置(弊社製)で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。このときはすべてのストロボ電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。

赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のときは、同調発光しない電源部が出ることがあります。

3 各部の名称とはたらき

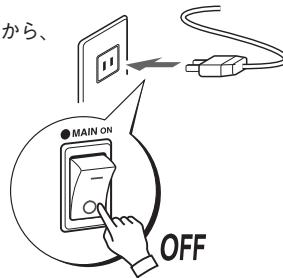


1	出力バリエーター(VARIATOR)/出力表示切換	出力をFULL～1/128まで1/6EVステップで調光します。押し込みながら回すと1EVステップで調光します。軽く押すごとに出力表示をWs(400～3.1Ws)または、Wv(10.0～3.0Wv)に切り替えます。
2	フォトセルスイッチ(P.CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させる時「ON」にします。フォトセルスイッチ「ON」のとき緑色に点灯します。
3	サウンドスイッチ(SOUND)	充電サウンドを「消音(OFF)」「充電中音(CHG)」または「充電完了音(READY)」にします。
4	モデリングランプスイッチ(MODEL)	モデリングランプを「消灯(OFF)」「調光(VARI)」または「100%点灯(CONST.)」にします。
5	メインスイッチ(MAIN)	AC電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にし、ACコードプラグをコンセントから抜き取ってください。
6	ACパイロットランプ(MAIN)／過熱警報表示	メインスイッチを「ON」にすると点灯します。内部電子部品が所定温度以上になるとブザー音と共に点滅します。
7	レディーランプ／テスト発光スイッチ(TEST)	充電が完了すると点灯します。テスト発光をするときはランプ部を軽く押してください。また、不発光が生じたとき点滅します。
8	出力表示(Ws/Wv)	出力をデジタル表示します。
9	RS-レシーバーII接続コネクター	RS-レシーバーII(付属)を接続します。RS-レシーバーII以外の接続は絶対にしないでください。
10	アンブレラ固定ネジ	アンブレラを固定します。
11	パン棒	雲台を操作するハンドルです。本体を動かす時に使用します。
12	ダボ	φ17ダボスタンドに立てます。
13	雲台	本体を支える部分で、パン棒により角度を調整して固定します。
14	アンブレラ取付穴	アンブレラを使用するときは、この穴にアンブレラ軸を通します。
15	スレーブセンサーキャップ/レディーランプ/不発光表示/フォトセル兼用	充電が完了すると点灯します。不発光が生じると点滅し、ブザー音で知らせます。フォトセル受光素子が内蔵されています。
16	リフレクター固定ネジ	リフレクターをセットしてネジで固定します。
17	キセノン放電管	ストロボの発光管です。使用中、使用直後はかなりの高温になります。絶対に手をふれないでください。
18	モデリングランプ	ハロゲンランプAC100V200Wまで使用できます。定格は必ずお守りください。
19	リフレクター	シンクロンリフレクター110φ(別売)をはじめ、CXタイプリフレクター(別売)も使用できます。
20	ガラスグローブ取付金具	シンクロンガラスグローブ(別売)を取り付けます。
21	ACコネクター	付属のACコードで本機とACコンセントを接続してください。使用後は必ずACコンセントからACプラグを抜いてください。
22	ヒューズホルダー	ヒューズは電源部を保護します。定格は必ずお守りください。
23	シンクロソケット	ホーンジャックタイプのシンクロコード(付属)でカメラと接続します。

4 操作手順

■ 1. ACコードを接続して下さい

メインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードを本体のACコネクターへ充分差し込んでください。その後ACプラグをコンセントへ差し込みます。



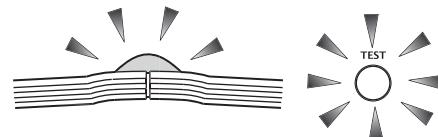
■ 2. メインスイッチを「ON」にして下さい

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。ACパイロットランプが点灯し、充電が始まります。



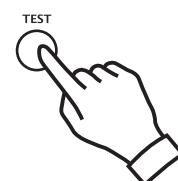
■ 3. 充電の完了

充電が完了するとテスト発光スイッチ (TEST) と本体上部のレディーランプが点灯し、発光準備が完了します。



■ 4. テスト発光をして下さい

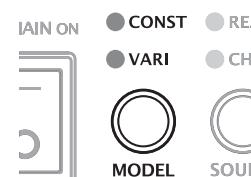
テスト発光スイッチ (TEST) を軽く押し、正常に発光することを確かめてください。



■ 5. モデリングランプモードを選択してください

モデリングランプを使用するときモデリングランプスイッチ (MODEL) を「CONST」「VARI」のいずれかにセットします。

☞ 詳細は10ページ6.モデリングランプモードをご参照ください。



■ 6. カメラとのシンクロを確認してください

●シンクロコードをご使用の場合

シンクロコード(付属)でカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

●無線コントロール装置、無線シンクロ装置をご使用の場合

本機のRS-レシーバーII接続コネクターにRS-レシーバーII(付属)を接続し、カメラでの発光テストをします。(コメットRS-発信器、RS-コントローラーは別売です。)

☞ 詳細は12ページ9.RS-レシーバーIIをご参照ください。

【お願い】

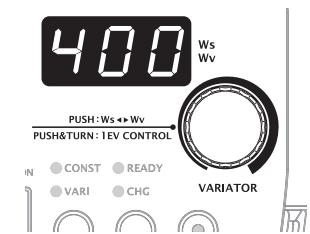
- 本番撮影をされる前にシンクロテストを行うことをお勧めします。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を1/60秒で使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターの後幕シンクロには発光してもシンクロ(同調)しません。

5 出力バリエーター / 出力表示の切り換え

■ 出力バリエーター

出力バリエーター(VARIATOR)は、FULL(400Ws)から1/128(3.1Ws)までを1/6EVステップで調光します。バリエーターを押し込みながら回すと1EVステップで調光します。

●出力を下げた場合、空発光は不要です。



■ 出力表示の切り換え

軽く押すごとに出力表示をWs(ワットセカンド)またはWv(ワットバリュー)に切り替えます。

Ws(ワットセカンド)はストロボの電気エネルギー量を表す数値です。

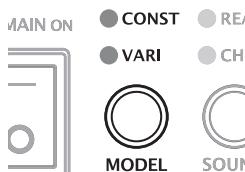
Wv(ワットバリュー)はWsを簡易指数に置き換えた数値です。本機の最大出力400Wsを10.0Wvとし、1Wv下がるごとに1絞り分の光量が下がります。

6 モデリングランプモード

モデリングランプスイッチ (MODEL) はモデリングランプを「消灯」「調光(VARI)」または「100%点灯(CONST)」にします。

■ OFF (モードを示すランプが消灯します。)

モデリングランプを消灯します。



■ VARI

モデリングランプはストロボ出力 400Ws のとき 100%の明るさとしてストロボ出力に連動して調光します。1/16 以下は 1/16 の光量で一定です。

■ CONST

ストロボ出力に関係なく、モデリングランプが 100%の明るさで点灯します。

7 サウンドモード

サウンドスイッチ (SOUND) は充電サウンドを「消音 (OFF)」「充電中音 (CHG)」または「充電完了音 (READY)」にします。

■ OFF (モードを示すランプが消灯します。)

充電状況を確認するためのブザーが鳴りません。



■ CHG

充電中にブザー（断続音）が鳴り、完了すると止まります。

■ READY

充電が完了したときに、ブザーが鳴ります。

- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

8 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。

フォトセルスイッチ「ON」のときスイッチが緑色に点灯します。

フォトセル受光部はストロボ本体上部のスレーブセンサーキャップに内蔵されています。

実際の撮影前に、必ず、カメラとの同調テストを行ってください。



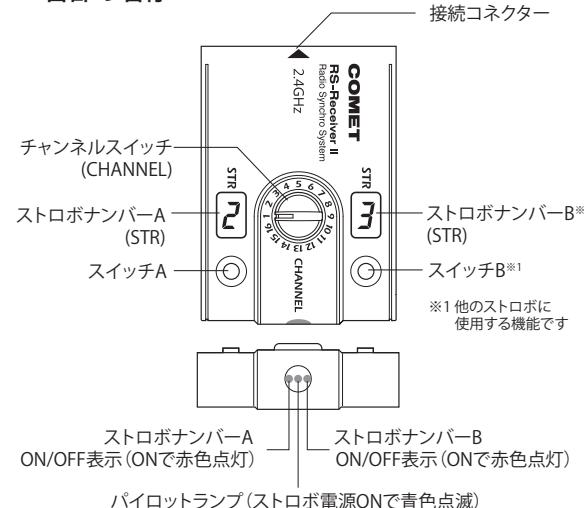
【ご注意】

- 室内照明に蛍光灯を使用しているときは、フォトセル受光部を 50cm 以上離してセットしてください。蛍光灯の光の影響により、不発光や誤発光することがあります。また、フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてご使用ください。
- 赤外シンクロ装置を使うときは、必ず各本体に 1 台ずつ赤外シンクロ受信器をセットして、フォトセルスイッチを「OFF」にしてください。フォトセルスイッチを「ON」にすると、発光しても同調発光しないものがでます。

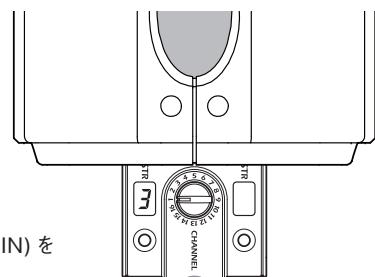
9 RS-レシーバーII (RS-Receiver II)

SYNCHRON 04RC II に付属の RS - レシーバーII を接続することで、RS - 発信器（別売）、RS - コントローラー（別売）からストロボを無線シンクロ発光させることができます。

■RS - レシーバーII各部の名称



■RS - レシーバーIIの接続



1. ストロボ本体のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にしてください。
2. ストロボ本体のRS - レシーバーII接続コネクターにRS - レシーバーIIを取り付けてください。
3. RS - レシーバーIIのチャンネルスイッチ (CHANNEL) をRS - コントローラーと同じチャンネルに設定してください。
RS - 発信器をご使用の場合の設定方法は、別紙「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」をご参照ください。
※チャンネルを変更する場合は、一度電源を「OFF」にしてから設定してください。
4. ストロボ本体のメインスイッチ (MAIN) を「ON」にしてください。
RS - レシーバーIIのストロボナンバー (STR) が表示されます。
※ SYNCHRON 04RC II はストロボナンバー B は使用しません。
ストロボナンバー B が表示されている場合、スイッチBを2秒間長押しして
ストロボナンバー B を OFF (消灯) にします。

5. ストロボ本体のフォトセルスイッチ (P.CELL) を「OFF」にしてください。

6. RS - 発信器または、RS - コントローラーを使用した同調テストをします。

RS - 発信器または、RS - コントローラーのテスト発光スイッチを押します。

RS - 発信器または、RS - コントローラーからの信号を正常に受信すると、
ストロボが発光します。

【ご注意】

- RS - 発信器、RS - コントローラーの使用方法につきましては、各製品付属の取扱説明書をご覧ください。
- 無線コントロール装置、無線シンクロ装置（弊社製）は無線 LAN と同様に 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。
無線 LAN 環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。
その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。
(使用周波数 : 2.427GHz ~ 2.457GHz)
- 無線シンクロ装置（弊社製）を RS - コントローラーまたは、RS - レシーバーIIと併用される際は、無線シンクロ装置のチャンネルスイッチを別紙「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」のように設定してください。
無線シンクロ装置 RS - 発信器 (RS-Transmitter)、RS - 受信器 (RS-Receiver) 付属の取扱説明書に記載されたチャンネル表は使用しないでください。
- RS - 受信器をストロボ本体とシンクロコードで接続して使用する場合、RS - レシーバーIIをストロボ本体から取り外してください。
- RS - レシーバーIIをストロボ本体に取付け、取り外しをする際は必ず、ストロボ本体のメインスイッチを「OFF」にしてください。
- RS - レシーバーIIをストロボ本体から取り外したときは必ず、付属のコネクターキャップをストロボ本体の接続コネクターに取り付けてください。
接続コネクター端子のショート、破損の原因となります。
- 撮影機材を移動・運搬する際は必ず、RS - レシーバーIIをストロボ本体から取り外してください。
ストロボ本体の接続コネクター端子に負荷がかかり、破損の原因となります。

【RS - コントローラー使用上のご注意】

- RS - コントローラーから複数のRS - レシーバーII (ストロボ) を操作する場合、極まれに受信できないストロボがでたり、到達距離が短くなるなどの影響がでることがあります。
RS - コントローラーでRS - レシーバーIIを接続したストロボを操作したときは、コントローラーからのワイヤレス操作がストロボに反映(受信)されていることをご確認ください。
- 使用後は必ず RS - コントローラーから電池を取り外してください。
電池をセットしたまま RS - コントローラーをケースなどに収納した場合、誤って RS - コントローラーのスイッチが押された状態で放置され、電池が過放電による液漏れをおこす恐れがあります。

10 RS-コントローラー (RS-Controller)

RS-コントローラー(別売)のチャンネル数は16チャンネルです。

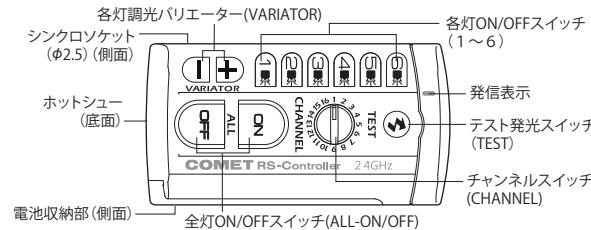
RS-レシーバーII、無線シンクロ装置(RS-受信器、RSミニレシーバー、RX-2受信器)に対応したチャンネルに設定することで無線シンクロ発光が可能です。(別紙「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」参照)※無線シンクロ装置は別売です。

RS-レシーバーIIを接続したストロボは無線シンクロ、テスト発光のほかに、全灯ストロボON/OFFが可能です。さらに、RS-コントローラーの各灯スイッチでRS-レシーバーIIに設定したストロボナンバーを選択することで、個別にストロボON/OFFと調光が可能です。

- RS-コントローラーは複数のボタンを同時に操作できません。複数のボタンを同時に操作した場合、ストロボ本体が誤動作する恐れがあります。
- RS-コントローラーは5秒間操作しないと、スリープモードになります。
- RS-コントローラーの動作距離は見通しの良い場所で30m以内です。

■RS-コントローラー

各部の名称



■RS-コントローラーの設定

- 電池収納部に単3形乾電池(1.5V)をセットします。※充電式電池(1.2V)は使用できません。電池収納部の極性表示に従い、正しい向きにセットしてください。
※電池残量が少なくなるとRS-コントローラーからの操作到達距離が短くなったり、無線シンクロの不発が起きます。このような場合は、新しい電池に交換してください。
- コントローラー底面のホットキーをカメラのアクセサリーシューに差し込み、固定リングを締めます。シンクロターミナル内蔵のカメラの場合は、付属のシンクロコードで側面のシンクロソケット(φ2.5)と接続します。
- RS-コントローラーとRS-レシーバーIIのチャンネルスイッチ(CHANNEL)を同じチャンネルに設定してください。

■RS-レシーバーIIの設定

- 1.12ページ「RS-レシーバーIIの接続」の手順でRS-レシーバーIIをストロボ本体に接続します。
- RS-レシーバーIIのスイッチAを押してストロボナンバーAを1~6に設定します。
スイッチを1回押すごとに1から6まで1つ送りに表示が切り替わります。
※スイッチAを押すと数字が1つ送られて、そのまま2秒間押し続けると、数字の表示方向が上下切り替わります。
- 同じストロボナンバーを2台以上のRS-レシーバーIIに設定しないでください。
RS-コントローラーは各チャンネルごとに最大6灯操作可能です。



■全灯ストロボのON/OFF

●全灯ストロボのON

RS-コントローラーの全灯ONスイッチ(ALL-ON)を押すと、同じチャンネルのストロボが一括ONします。

このとき、SYNCHRON 04RC IIの表示に出力設定値が表示されブザー音が鳴ります。
RS-レシーバーIIのストロボON/OFF表示(赤)が点灯します。

●全灯ストロボのOFF

RS-コントローラーの全灯OFFスイッチ(ALL-OFF)を押すと、同じチャンネルのストロボが一括OFFします。

このとき、SYNCHRON 04RC IIの出力表示に「OFF」が表示されブザー音が鳴ります。
RS-レシーバーIIのストロボON/OFF表示(赤)が消灯します。

※ SYNCHRON 04RC IIのサウンドモード(SOUND)がOFFのとき、ブザー音は鳴りません。

■各灯ストロボのON/OFF

RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチ(1~6)を2秒間長押しすると、個別にストロボをON/OFFすることができます。

【ご注意】

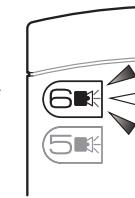
- RS-コントローラーでストロボ本体を全灯または、各灯OFF操作をしてもストロボ本体のメイン電源は「OFF」になりません。ストロボ電源部を長時間ご使用にならないときは必ず、ストロボ本体のメインスイッチ(MAIN)を「OFF」にするか、ブレーカーなどをOFFにしてください。

■各灯ストロボの調光

1. 調光するストロボを選択します。

RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチ(1~6)を押すと、スイッチが点滅します。

このとき、ストロボに接続したRS-レシーバーIIのストロボナンバーが点滅します。



※ストロボを「OFF」にした状態で、ストロボの調光はできません。

調光する前に、RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチでストロボを「ON」にしてください。

2. RS-コントローラーの調光バリエーター(VARIATOR-+/-)を押してストロボを調光します。

1回押すとSYNCHRON 04RC IIは1/6EVステップで調光され、ブザー音が1回鳴ります。長押しすると1EVステップで調光されます。

調光範囲を超えるとブザー音が2回鳴ります。

3. 調光が完了したら、各灯ON/OFFスイッチ(1~6どれでも)を押すと、スイッチのランプが消灯し、ストロボの選択が解除されます。

スイッチの選択は、操作しないままで約5秒経過しても解除されます。

■テスト発光

テスト発光スイッチ(TEST)を軽く押すと、同じチャンネルのストロボが発光します。

11 不発光警報

■ 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しなかったときは、ブザーの連続音が鳴り、同時にレディーランプが点滅します。

充電完了前に発光操作を行ったとき、発光はせずレディーランプが点滅して、ブザーの連続音が鳴ります。

●警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。



■ 警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。また、メインスイッチ (MAIN) を一旦「OFF」にすることでも解除できます。

12 過熱警報

長時間の連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になった場合は、AC パイロットランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。このときは、直ちに使用を中止してください。

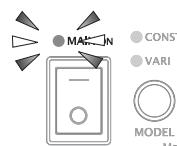
●警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除

メインスイッチ (MAIN) を一旦「OFF」にして、ふたたび「ON」にするとブザー音は停止します。内部温度が下がるまで AC パイロットランプは点滅します。

【ご注意】

- 冷却を早めるためには、モデリングランプスイッチ (MODEL) を「OFF」にしてメインスイッチ (MAIN) を「ON」にしてください。内蔵ファンで冷却効果が上がります。



13 モデリングランプの交換

モデリングランプはハロゲンランプ AC100V200W まで使用できます。

注意

- 使用している電源部のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ずACコードのプラグをコンセントから抜いてください。
- 消灯直後は非常に高温です。
十分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。
- ハロゲンランプの定格は必ずお守りください。定格以上のハロゲンランプを使用すると、発熱で故障や損傷の原因となります。
- ハロゲンランプやキセノンランプは素手で触れないでください。指紋やよごれが付いたときは、アルコールなどで拭き取ってください。

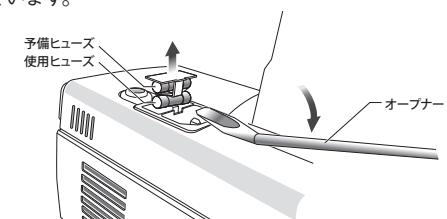
14 ヒューズの交換

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にしても、電源が入らない場合はヒューズが切れている恐れがあります。

そのときは、下記の手順でヒューズの交換をおこなってください。

■ ヒューズは付属のオープナーを使用して交換します

1. 付属のオープナーをヒューズホルダーの蓋の横穴に差し込み、図のように蓋を押し上げます。
2. ヒューズホルダーには 2 本のヒューズが入っています。
手前に予備ヒューズが入っていますので、奥に入っている断線したヒューズと交換してください。
指定の定格のものと交換してください。



注意

- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ずACコードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。
定格以外の使用は発火や火災の原因となります。

15 ガラスグローブの着脱

別売のガラスグローブを取付ける、または取り外しをする場合は次の手順で行ってください。

■ 取り付ける場合

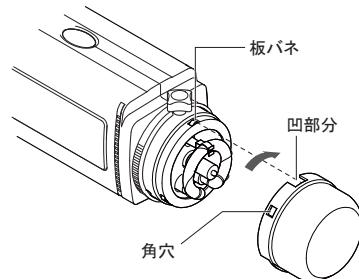
本体3ヶ所の板バネにガラスグローブの凹部分を合わせます。次にガラスグローブを時計回りに回転し、本体の板バネとガラスグローブの角穴を合わせ取付を完了します。

■ 取り外す場合

ガラスグローブを時計回りに回転し、本体の板バネとガラスグローブの凹部分を合わせ、手前に引き抜きます。

【お願い】

- ガラスグローブの取り付け、取り外しのときはキセノンランプ、モデリングランプランプを破損しないよう注意して行ってください。



注意

- 消灯直後は非常に高温です。
十分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。



16 保証とアフターサービス

■ 保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■ 保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■ アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■ 修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のACコード、シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

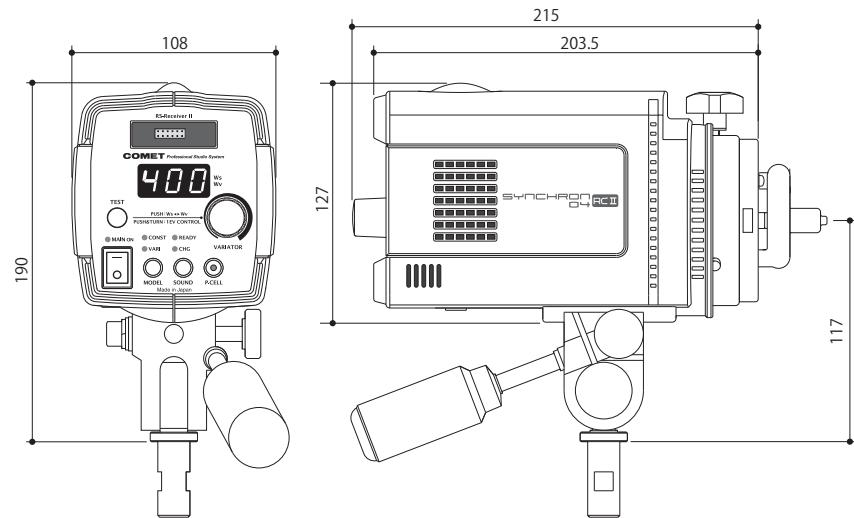
■ 修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付しております。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

品名	SYNCHRON 04RC II
型式	SYNC-04RC2
最大出力	400Ws
定格電圧	AC100V±10% 50/60Hz
ヒューズ定格	ストロボ用 7A(内蔵)
ストロボ調光方式	シリーズカット調光
ストロボ調光範囲	エンコーダーによるFULL～1/128 1/6EVステップ (ツマミ押し回し 1EVステップ)
出力表示	7セグメント(3桁) OFF表示あり※1 ツマミを押すごとにWs(400～3.1Ws)または、Wv(10.0～3.0Wv)表示に切り換え ※1 RSコントローラーでの全灯または、各灯OFF操作時
モデリングランプ	ハロゲンランプ 100V 200W以下
モデリング調光モード	100%点灯(CONST) / 出力連動調光(VARI)※2 / 消灯(OFF) ※2 モデリングランプはストロボ出力400Wsのとき100%の明るさとしてストロボ出力に連動して調光します。1/16以下は1/16の光量で一定です。
充電時間(FULL)	1.8秒(50Hz/60Hz)
閃光時間(FULL)	1/700秒
連続発光回数	調光1/128(3.1Ws)の時 1秒間に10回発光可能※3 ※3 ご使用になる電源環境により同期しない場合が有ります。
充電サウンドモード	充電完了音(READY) / 充電中音(CHG) / 消音(OFF)
レディーランプ	テスト発光スイッチおよび、スレーブセンサーキャップが充電完了で点灯
シンクロソケット	ホーンジャック 1個
リモコン受信機能	RS-Receiver II専用コネクタ 1個(着脱式) 使用周波数 2.427GHz-2.457GHz
シンクロ電圧	DC12V
フォトセル	内蔵(スイッチ付)
不発光警報	ブザー連続音とレディーランプ点滅
過熱警報	ブザー連続音とACパワロットランプ点滅
クーリングファン	内蔵
雲台	CA雲台
適合リフレクター	CXタイプ
ガラスグローブ	シンクロンガラスグローブ(別売)
寸法	203.5(w) × 127(h) × 108(d) mm
重量	1.93kg



品名	RS-Receiver II
型式	RS-R-2
使用周波数	2.427GHz-2.457GHz
チャンネル数	16CH × 6灯
動作距離	30m以内
灯体識別表示	7セグメント(1桁) × 2回路
寸法	43(w) × 61.5(h) × 13(d) mm
重量	20g

※RS-Receiver IIはSYNCHRON 04RC II付属です。

品名	RS-Controller
型式	RS-CNTR
使用周波数	2.427GHz-2.457GHz
チャンネル数	16CH
各灯スイッチ	6
動作距離	30m以内
送信LED	有り(発光、全灯ON信号送信時に点灯)
テスト発光ボタン	有り
ストロボ調光	各灯スイッチで灯体を選択、+/-ボタンによる
ストロボON/OFF	全灯: ON/OFFスイッチで全灯ON/OFF 各灯: 各灯スイッチ長押しで各灯ストロボON/OFF
使用電池	単3形乾電池(1.5V) 1本
寸法	43(w) × 38(h) × 81(d) mm
重量	45g

※RS-Controllerは別売です。